

## 祝 圃初喜さん(諫早市飯盛町)黄綬褒章受章 おめでとうございます!

令和4年秋の褒章において、諫早市飯盛町の圃初喜さんが、黄綬褒章を受章されました。

圃さんは、飯盛土地改良区理事として300haを超える圃場整備の実現に貢献し、27年間の長きにわたり、県央農協にんじん部会部会長・副部会長・役員を務め、間引きや収穫作業班体制の育成、地域に適合した品種の選定とにんじん収穫機の積極的な導入、大型選果施設の整備により定時・定量・定質の共販体制を構築し、産地拡大に寄与されました。圃さんは、昭和48年に就農し、現在は農地集積、機械化により、作付延べ面積は985a(10年前対比201%)と飛躍的に増加させ、併せて高い技術力により、単収・秀品率も部会トップクラスの実績をあげておられます。地域のみならず大規模露地野菜の模範として、今後も、ますますのご活躍を期待いたします。



圃初喜さんとみやこさんご夫妻

## 祝 半農半陶の里波佐見 地域内循環プロジェクト 日本農業賞 優秀賞受賞 おめでとうございます!

波佐見町全体で取り組んでいる「半農半陶の里波佐見 地域内循環プロジェクト」が日本農業賞、食の架け橋の部において優秀賞を受賞しました。この取組は、農業者と消費者の連携や地域づくりに貢献する活動を表彰するものです。波佐見焼を作る過程で使用した石膏型は使用回数と共に摩耗するため、約100回程度で使用できなくなってしまいます。この石膏型を農業用の土壌改良剤として活用して、農産物を栽培し、お土産品を開発するなど、オール波佐見での地域内循環の取り組みが高く評価され、今回の受賞となりました。

「陶箱クッキー」は粉碎した石膏型を土壌改良剤として撒いた田んぼで米粉用米を栽培、製粉後、鬼木加工センターが地域食材と組み合わせたクッキーに加工して、波佐見焼の陶箱に詰め合わせ、地元企業製の化粧箱に入れた商品です。また、「ハ三三米」は、使用済みの石膏型を土壌改良剤として契約農家が農地に散布し栽培した米で、町内14社の窯元が「くらわんか碗」にそれぞれの特徴を活かし、デザインを施した新しいお茶碗とコンブラ瓶型の箸置きをセットにした「ハ三三米くらわんかセット」で販売されています。

なお、再生石膏粉は「波佐見のめぐみ」として肥料登録され、今後地域内での利活用による循環モデルの取組み拡大が期待されます。

